

小4・音楽「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」

(1) 本時の目標

3段目のとんびの様子に合う歌い方を工夫する活動を通して、曲想と、旋律や呼びかけとこたえを生かした強弱のつけ方との関わりに気づき、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。

[思考・判断の拠り所となる音楽を形づくっている要素] 旋律

(2) 本時の展開 (8/8)

過程	過程のねらい	学習活動	個人研究との関連
つかむ	<p>音色や強弱を工夫したり、仲間の声をよく聴いて真似したりして歌うことができる。</p> <p>表したいとんびの様子によって表現を工夫するとよいことが分かり、本時の課題をつかむことができる。</p>	<p>1 ミュージックタイム【絵と音を合わせよう】 (提示される絵に合うような音色や強弱で「やまびこっこ」を歌う。グループの仲間はその音色や強弱を真似して繰り返す。)</p> <p>2 「とんび」を歌い、曲想や思い浮かべたとんびの様子を振り返る。様々なとんびの鳴き真似を試し、課題をつかむ。 ・滑らかでおだやかな曲だったね。「ピンヨロー」はとんびが鳴いている感じがしたよ。 ・近くにいとんびの鳴き声は大きく聴こえると思うよ。子どものとんびなら小さく鳴くかな。 ・強弱を変えると色々なとんびの様子を表すことができそうだね。</p>	<p>〈研究内容Ⅱ-①〉活動1 ・表したい様子に合うように音色や強弱を工夫して歌うことで、活動3に生かすことができるようにする。また、呼びかけとこたえの仕組みを振り返ることができるようにする。</p> <p>〈研究内容Ⅰ-①〉活動2 ・曲想や思い浮かべたとんびの様子を言葉と絵や動きで確認することで、自分の思いを確かめたり仲間の思いと比較したりすることができるようにする。また、鳴き真似をして声に出してみることで、工夫する視点[強弱]に気付くことができるようにする。</p>
高める	<p>旋律の動きや呼びかけとこたえを生かした強弱の付け方を考えることができる。</p> <p>考えた工夫を仲間と交流し、様々な歌い方を試すことができる。</p>	<p>3 曲を聴いたり歌ったりしながら考えた工夫をロイロノートの楽譜にかき込む。(個人追求) ・1羽のとんびが近くから遠くへ輪を描いて飛ぶように歌いたいから、f→f→p→pと歌おう。 ・親子のとんびがお話するように歌いたいから、f→p→f→pと交互に歌おう。</p> <p>4 思い浮かべたとんびの様子ごとに集まり、考えた工夫を試す。(グループ交流) ・1羽のとんびが輪を描くように飛ぶ様子を表現したいな。ぼくは一周するイメージで f→f→p→pと考えたけど、二周する f→p→f→pもいいね。試してみよう。 ・親子のとんびがお話するように歌おう。f→p→f→pと f→f→p→pの二通りの歌い方ができそうだよ。試してみよう。</p>	<p>共通視点 本時の「自ら問い続ける」姿 自分や仲間が考えた様々な強弱のつけ方を繰り返し試し、自分の思いに合う表現の仕方を見付けようとする姿。</p> <p>〈研究内容Ⅱ-③〉活動3～6 ・ロイロノートを活用することで、思い浮かべたとんびの様子や考えた工夫、その根拠をかき込み、その都度仲間と共有することができるようにする。</p> <p>〈研究内容Ⅰ-②〉活動3～6 ・児童の考えた工夫をより分かりやすく表現したり他の考えと比較したりして範唱する。それにより、思い浮かべたとんびの様子を表現するためには、[旋律]の動きに合わせて[強弱]を工夫するとよいことを児童が実感できるようにする。</p>
見つける	<p>仲間の思いや意図を受け止め、旋律を手がかりに強弱を工夫するとよいことが分かる。</p> <p>強弱をつけて表現することのよさを実感できる。</p>	<p>5 全体で交流し、思いや意図、手がかり【旋律】を確認する。(中間交流) ・とんびが近づいたらf、遠ざかったらpで歌います。p→f→p→fだと旋律の動きに合わないから、f→p→f→pにしました。 ・思い浮かべたとんびの様子だけでなく、旋律の動きにも合うように工夫して歌いたいな。</p> <p>6 仲間の考えを参考に自分の思いや意図を再度楽譜にまとめる。(個人追求) ・同じとんびの様子を思い浮かべていても、工夫の仕方が違って面白いな。私のイメージに近いのは、f→p→f→pかな。</p> <p>7 考えた工夫を基に歌う。 ・旋律の動きに合わせて強弱を工夫して歌うと、思い浮かべたとんびの様子を表現できて面白いね。</p>	<p>〈研究内容Ⅱ-②〉活動5 ・抽出グループの演奏から歌い方の工夫を考える基になる手がかり【旋律】を確認し、活動6に生かすことができるようにする。</p> <p>評価規準 【思考・判断・表現】 旋律や呼びかけとこたえ、強弱等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、思い浮かべたとんびの様子に合う表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>

個に応じた指導・援助

・活動3で強弱の工夫を考えることが難しい児童

→とんびのイラストを実際に動かして思い浮かべた様子を一緒に確認し、4種類の強弱記号を示してその中から選択できるようにする。